

こども園つみきの幼児教育・保育について



近年、幼児教育の重要性が世界的に注目されています。それは、増加する自然災害や今回の新型コロナウイルスの流行のように、前例がなく予測しにくい出来事が起きる現代社会をより良く生きていくためには、『非認知能力』と言われる『生きる力』が必要になること、幼児期に遊びを通して『非認知能力』を身につけることは、将来にわたって良い影響が長く続くことがわかってきたからです。

こども園つみきでは、現行の保育所保育指針及び認定こども園教育・保育要領に基づいて常に教育・保育内容を見直し、職員間で研修や話し合いを重ねながら、こどもの『生きる力』を育むためのより良い幼児教育・保育を目指し続けていきます。



「砂のケーキに、石鹸の泡クリームかけない？」
「飾りは草にする？」
「壊れないようにゆっくりやろう」
「〇〇ちゃんの誕生日にするのはどう？」

お誕生日ケーキの完成！
「次は、もっと大きいケーキに挑戦しよう！」



「水の道路はどこまでつづくのかな？」
「土に水が消えちゃう」
「カップよりバケツを使ってみようかな」



保育者(身近な大人)が大切にしていきたいこと

- *子どもと一緒に遊んだり見守ったりしながら、子どもの主体性を尊重します。
- *子どもの成功を喜ぶことと同じくらい失敗も大切にし、学びの応援者となります。
- *子どもが考え行動する姿を大切にし、先走った言葉を控え、適切なタイミングで肯定的な言葉をかけるように意識します。
- *子どもの興味関心に寄り添いながら、子どもが思わず遊びたくなり、発達に応じて挑戦したくなるような魅力的な環境を用意していきます。

『非認知能力』

- *自分自身や自分が取り組むことに対して、ポジティブな感情を持てる。(自己肯定感)
- *意欲的に物事に取り組むことができる。
- *やり抜く力。(粘り強さ・忍耐力)
- *自分の感情をコントロールする力。
- *自分のスキルや状況などを客観的に把握することができる。
- *コミュニケーション能力。
- *心の弾力性。(回復力・対処能力)
- *新しいものを作ったり、独自な発想をする。

心の能力・生きる力

『遊び』

を通して培っていく！

こども園時代に存分に
心の畑を耕やそう！！